

越前市水道ビジョン概要版

～日野のめぐみ、安心な水、未来まで～



平成 22 年 3 月

越 前 市

1. 計画の背景

今日、水道事業に求められるものは、より安全でおいしい水の供給や大規模地震などを想定した危機管理体制の充実など、高度化・多様化してきました。さらに、近年のライフスタイルの変化や人口増を見込めないこと等を背景とした水需要の低迷、老朽施設更新など、水道事業を取り巻く社会情勢は厳しさを増しています。

越前市では、これらの社会的要求に対して積極的に取り組むために、「越前市水道ビジョン」を策定します。

本ビジョンでは、事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で、課題を抽出し、目指すべき基本理念・目標を描きます。そのうえで、市民を始めとする全ての水道関係者の理解・調整・連携により、目標を達成することを目指します。

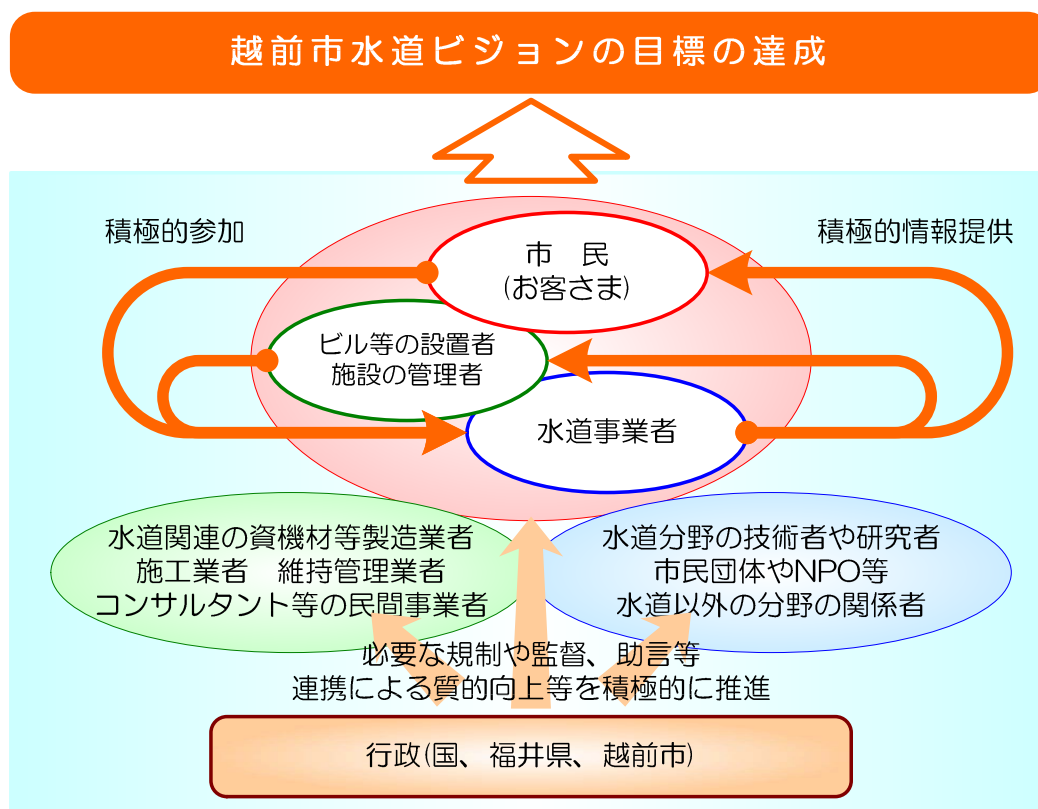


図 1 水道関係者の連携による目標達成のイメージ

2. 策定の趣旨

越前市水道ビジョンは、「越前市水道事業」について、事業運営の道筋を示すためのものです。「日野のめぐみ、安心な水、未来まで」を理念として掲げ、今後10年間の事業運営に関する課題を抽出し、解決策を導きます。

そして、お客様である市民に信頼されつづける水道事業を目指すため「安心」「安定」「持続」「サービス」「環境」の5つの視点から目標を設定し、それぞれの目標に対する施策をまとめます。

3. 計画の位置づけ

本ビジョンの計画期間は、平成22年度から平成31年度までの10年間とします。

なお、水需要の動向や社会情勢の変化について引き続き注意をはらい、計画策定から概ね5年を目途に計画の見直しを図ります。

本ビジョンは、越前市水道事業における将来の方向性を示すものですが、事業の推進に際しては、越前市総合計画の快適で住みよいまちづくりの基本政策をはじめ、厚生労働省の水道ビジョン等の関連する計画と整合を図ります。そして、水道事業の方向性を定めた後に、個別の問題を解決するための基本計画を策定します。さらに、基本計画に従って、より詳細な事業計画・実施計画を策定し、事業を推進します。

また、簡易水道事業についても、市民に水を供給するという共通の目的を持った事業であることから、事業の推進の段階において積極的に連携を図ります。

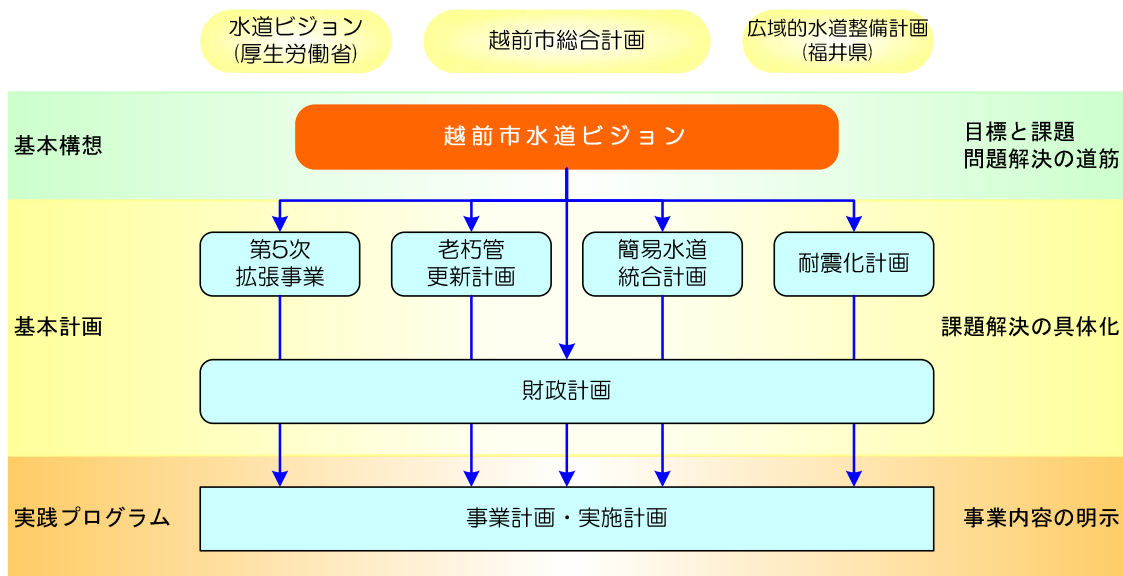


図 1.2 越前市水道ビジョン体系図

4. 基本理念

本ビジョンでは、以下の理念を掲げ、今後の事業運営に取り組みます。

日野のめぐみ、安心な水、未来まで

日野川沿いに広がる越前市では、古くより日野川の水の恵みを受けて市民の暮らしを支え、産業を発展させています。越前市水道事業においても同様に、日野川流域に位置する自己水源や、日野川の表流水を原水とする日野川地区水道用水供給事業*(県水)からの供給を受けて事業を進めており、日野川の豊かな水の恩恵を受ける事業です。

また、水道事業は、お客さまである市民からの水道料金のもとに成り立っており、市民に満足していただける安心な水を供給することは、われわれの使命であります。

現在では、多くの方に水道をご利用いただいています。創設から現在まで、日野川の水の恵みを受けて発展してきた水道を、次の世代にも変わらず届けるため、市民に信頼される安心な水を供給し、ともに未来まで歩んでいけるような水道事業を目指します。

*日野川地区水道用水供給事業

福井県が運営する事業で、越前市・鯖江市・福井市・越前町・南越前町の3市2町に水道水を供給する事業

◆市中央を流れる日野川◆

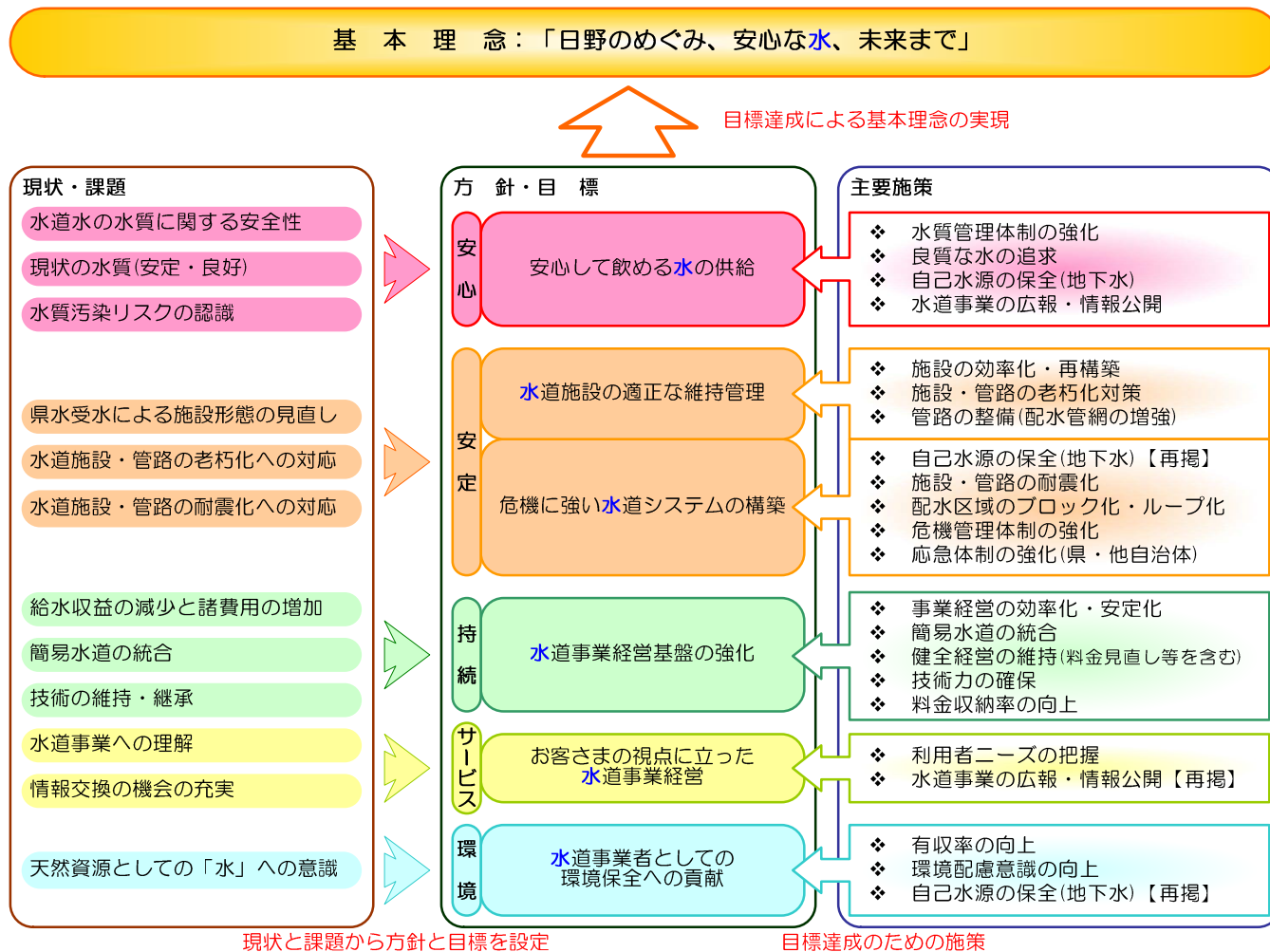


◆日野川の水辺◆



5. 施策の展開

基本理念の実現をめざして、現状と課題から方針・目標を設定し、それらを達成するための主要施策を展開します。



6. 事業の推進

本ビジョンに示した施策は、個別の事業計画を策定し、相互の関連に留意しつつ、着実に実施します。各施策の着手時期と事業期間を、短期(概ね5年以内)と中長期(概ね10年以内)、または継続的に取り組む施策として区分します。表1に各施策の事業期間を整理します。表中の「継続的に実施」とした施策は、期間を定めずに継続的に取り組む施策を示します。また、施策に必要な事業期間は、個別の事業計画の中で再度詳細に検討します。

表1 施策の事業期間

分類	施策	事業期間	
		短期 (H22~26)	中長期 (H27~31)
安心	水質管理体制の強化	継続的に実施	継続的に実施
	良質な水の追求	継続的に実施	継続的に実施
	自己水源の保全	継続的に実施	継続的に実施
	水道事業の広報・情報公開	継続的に実施	継続的に実施
安定	施設の効率化・再構築	継続的に実施	継続的に実施
	施設・管路の老朽化対策	継続的に実施	継続的に実施
	管路の整備(配水管網の増強)	継続的に実施	継続的に実施
	施設・管路の耐震化	継続的に実施	継続的に実施
	配水区域のブロック化・ループ化	継続的に実施	継続的に実施
	危機管理体制の強化	継続的に実施	継続的に実施
持続	事業経営の効率化・安定化	継続的に実施	継続的に実施
	簡易水道の統合	継続的に実施	継続的に実施
	健全経営の維持(料金見直し等を含む)	継続的に実施	継続的に実施
	技術力の確保	継続的に実施	継続的に実施
サービス	利用者ニーズの把握	継続的に実施	継続的に実施
環境	有収率の向上	継続的に実施	継続的に実施
	環境配慮意識の向上	継続的に実施	継続的に実施

→ : 事業を実施する期間
→ (点線) : 事業を実施する手法を検討する期間
 継続的に実施 : 特に事業期間を定めずに継続的に取り組む必要がある施策

7. フォローアップ

事業の実施にあたっては、進捗状況と併せて事業の成果や効果を把握しておくことが重要です。策定した計画(Plan)に従い、事業を推進(Do)し、目標の達成状況を確認(Check)し、改善の検討(Action)につなげます。このような、循環システムを構築することにより、着実にサービスの向上、ひいては市民の満足度の向上につながるようにします。

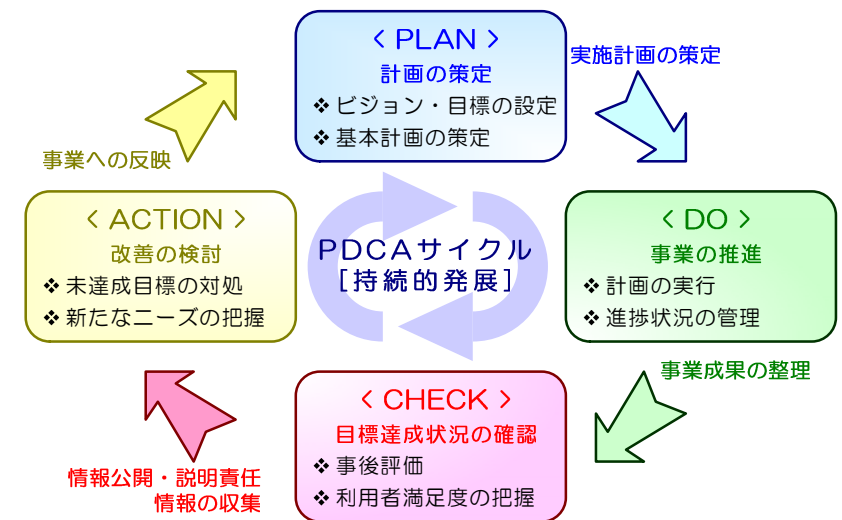


図3 事業の見直しの概念図

なお、本ビジョンは、10年間の施策を示したものですが、社会・経済情勢の変化を踏まえ、概ね5年を目途に適切に見直しを行います。